

補助事業番号 21-2-013
補助事業名 平成 21 年度 発達障害に関する啓発・普及、相談等補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 星槎教育研究所

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

発達障害に関する正しい理解やより良い支援のために、全国で啓発セミナー・シンポジウムを開催する。これにより、社会が発達障害児・者や、その家族を受け入れ、見えにくい障害のために生きにくさを抱えた人々の生活がより向上することを目的とする。また、啓発セミナー・シンポジウムの様子をDVD教材とし、発達障害に対する正しい理解と、支援を行える相談員を全国で育成し、発達障害に対する支援を全国に広げる。また、発達障害に悩む当事者や保護者、そして当事者に関する支援者を対象に、相談会を開催し、多くの悩みを抱えた人がほんの些細なことでも相談できる機会を設け、引きこもりや不登校、心神症等に陥りやすい当事者や家族の二次的な症状を防ぐことを目的とする。さらに、調査研究を行い、ソーシャルスキル・ライフスキル教材の基盤を作成し、発達障害のある人々が求めている教材を作成するための指針を定めていく。

(2) 実施の内容

① 発達障害に関する啓発セミナーの開催

保護者、本人、教育関係者、医療関係者等を対象とした専門講師による発達障害の理解・啓発セミナーを、メイン会場よりTV会議システムでの配信をし、全国18か所で年7回開催した。

第1回セミナー【平成21年7月4日】

『自立と自律に向けて～児童期から思春期に大切なこと』

【講師】 うすい まさと（シンガーソングライター）

尾崎 ミオ（NPO法人東京都自閉症協会理事）

第2回セミナー（メイン会場：大阪）【平成21年9月5日】

『自発的な活動を促す～思いっきり支援ツールの活用 幼児期から青年期までの支援』

【講師】 武藏 博文（香川大学教育学部 教授）

第3回セミナー（メイン会場：横浜）【平成21年9月22日】

『自立と自律のために親ができること 働き続けるために ～成人期～』

【講師】 藤堂 栄子（NPO法人EDGE 代表）

新堀 和子（LD親の会「けやき」就労部 代表）

明石 洋子（社会福祉法人「あおぞら共生会」副理事長）

第4回セミナー（メイン会場：東京）【平成21年10月3日】

『考え方を変えて気持ちをコントロール ～思春期・青年期の認知行動療法～』

【講師】 下山 晴彦（東京大学大学院教育学研究科 教授）

第5回セミナー（メイン会場：東京）【平成21年10月24日】

『シンポジウム ～発達障害の人たちが働くために～』

【講師】 田中 祐（福祉保健局 東京都立精神保健福祉センター 医長）

石橋 悦子（東京都発達障害者支援センター 主任支援員）

今井 忠（NPO法人東京都自閉症協会 理事）

石井 京子（テスコ・プレミアムサーチ株式会社 代表取締役）

鈴木 慶太（株式会社 Kaien 代表）

第6回セミナー（メイン会場：名古屋）【平成21年10月31日】

『気になる行動の理解の仕方～子育てに活かす応用行動分析学【ABA】入門』

【講師】 三田地 真実

（教育フシリーション・オフィス代表・星槎大学・法政大学大学院兼任講師）

第7回セミナー（メイン会場：札幌）【平成21年12月6日】

『アイデンティティの確立へ ～激動の思春期にどう向き合うか～』

【講師】 田中 康雄

（北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床センター 教授）

② 相談事業

保護者、本人、教育関係者、医療関係者等を対象として、専門相談員による相談会を開催。①セミナー開催後に、メイン会場での相談会を計7回。当法人新宿センターにて、計9回の相談会を開催した。

③ 相談員の研修・育成事業

相談員の研修・育成のために、①セミナーの模様をDVD教材として製作。DVDと報告書を、教育委員会や全国教育研究所等へ配布した。

④ 調査研究事業

発達障害の特性に応じたスキルアッププログラムの調査・研究を行い、専門指導員を招き研究会を年7回実施。

2. 予想される事業実施効果

発達障害に関する正しい理解をもつ支援者・相談員が増え、その子の特性に合った学び方や支援方法を考えていくことで、発達障害のある本人や家族が、学校や社会から孤立せずに、特性を生かした生き方ができるようになることが期待される。また、DVDで

くり返し講演を聞くことができるため、試行錯誤を繰り返し、いろいろな支援方法を模索している保護者や支援者が、その学びを重ね、よりその子にあった支援を考えていくことができる。DVDは、今後も講演を逃してしまった人々へも、研修機会を与えるものとなり、さらなる相談員の育成へとつながる。調査研究では、思春期・青年期むけのSST教材について、その必要性をはじめ、どのような点に注意していくべきなのかをまとめ、確認することで、新たな教材の作成に向かうときの指針が作られた。今後の教材作成の根幹をなすものであり、ここから細分化または枝分かれしていく教材が作りやすくなったといえる。思春期・青年期むけSST教材が研究・開発されることで、発達障害児・者のさらなるスキルアップが期待され、同時に社会福祉の増進につながる。

3. 本事業により作成した印刷物等

「ライフステージに応じた 理解と支援」セミナー 報告書
セミナー DVD 紹介リーフレット

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：特定非営利活動法人 星槎教育研究所（セイサキョウイクケンキュウシヨ）

住所：162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-35-1

代表者：理事長 近藤正隆（リジチョウ コンドウマサタカ）

担当部署：新宿センター

担当者名：研究員 橋本千恵（ケンキュウイン ハシモトチエ）

電話番号：03-5225-6245

F A X：03-5225-6246

E-mail：tokyo@seisa.ed.jp

U R L：<http://www.seisa.ed.jp/npo/index.html>